

21基金合計残高は21億円 町債残高は170億4千万円

◆白老町の財産状況―基金は増加

まちの財産には、道路や公園、学校、公民館などの公共施設の土地や建物といった公有財産（※表3）と現金や有価証券として保有している基金（※表4）があります。

基金には、年度間の財源調整を目的とした財政調整基金のほか、さまざまな行政需要に使用するための20の特定目的基金があります。それらの基金すべての合計残高は、21億円となっています。

区分	面積・金額
土地	2,308万㎡
建物	14万6千㎡
債権	1億671万円
その他	1億8,728万円

◆町の借金の状況

令和元年度末の町債（長期借入金）の残高（現在高）は表5の通りです。全会計の合計は170億4600万円となり、うち一般会計98億円、特別会計61億6300万円、企業会計10億8300万円となっています。

区分	令和元年度末	平成30年度末	対前年増減
財政調整基金	91,864	83,026	8,838
町債管理基金	7,087	1,086	6,001
公共施設等整備基金	36,410	32,803	3,607
水産業振興基金	47	46	1
海外交流基金	1,307	1,307	0
介護保険事業基金	11,302	9,907	1,395
緑化基金	219	219	0
社会福祉基金	1,807	1,707	100
退職金手当追加負担金積立基金	5,366	9,047	△3,681
文化振興基金	511	209	302
特別養護老人ホーム事業基金	1,883	1,925	△42
ふるさとGENKI応援寄附金基金	8,685	8,846	△161
その他基金	46,021	41,461	4,560
合計	212,509	191,589	20,920

※残高は出納整理期間（5月末）までを対象としている（単位：万円）

区分	令和元年度末 (単位：万円)
一般会計	980,009
特 公共下水道事業	567,108
特 港湾機能施設整備事業	19,666
特 特別養護老人ホーム整備事業	29,545
企 水道事業	108,364
企 病院事業	0
合計	1,704,692

町債残高は、対前年比では、一般会計の4億3200万円減をはじめ、全会計で9億8400万円減と順調に減少しています。その負担割合を示す実質公債費比率は、順調に改善しており、今後も計画的な地方債発行により安定した財政運営に努めていきます。

備等、道路の安全・安心に関わる事業、町営住宅非常用照明取替事業等にそれぞれ充当し、活用しています。

また、ふるさと納税のうち、指定寄付金の一部を原資とする「ふるさとGENKI応援寄附金基金」の残高は、約8600万円となっています。